

新晃工業

# 『健康空調』搭載のUVCLランプ 新型コロナ感染症に有効

空調機器の総合メーカー、新晃工業（社長 末永聡氏、本社・大阪市北区南森町1-4-5）は、同社が受注活動に取り組む空気除菌システム「健康空調」に搭載しているUVCLランプについて、新型コロナウイルス感染症への有効性が専門家から認められたと発表した。公益社団法人空調・衛生工学会が9月7日に発表した「新型コロナウイルス感染症対策としての空調設備を中心とした設備の運用について（改訂二版）」の中で指摘しているもので、新晃工業では「ウイルス感染リスクを低減するには室内全体に循環する空気への対策が必要」とし、「フィルタによるウイルスの捕集に加え、空調機内で紫外線を照射することでウイルスを不活化するなどの根本的原因を取り除くことが有効」としている。

同工学会は改訂二版の中で、「インフルエンザA型ウイルスやSARS-CoV-2のような一本鎖RNAウイルスの場合、紫外線に曝露される機能が喪失する」とし、「0.1mw/平方メートルの強度なら21秒間照射で90%のウイルスが不活化になることが予測される」としている。【注】SARS-CoV-2は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の原因となるウイルス】

病院では院内感染を防ぐために様々な安全対策が取られているが、外来患者や見舞客など不特定多数が入り出す待合室、エントランスでは外部から持ち込まれた細菌やウイルスが浮遊している。新晃工業の「健康空調」は、強力な紫外線照射（UVGI）で浮遊細菌、ウイルスを除去し、クリーンな空気を再供給するもの。不特定多数が集まる空間の空気を取り込み、超高出力の紫外線ランプを照射することで浮遊細菌やウイルスを分解・除去し、浄化した空気を室内に供給する仕組み。当初は病院を主な需要先に想定していたが、対象を公衆施設など不特定多数が集まる大空間に広げ、提案に力を注いでいる。